

伊藤漢仙先生選評



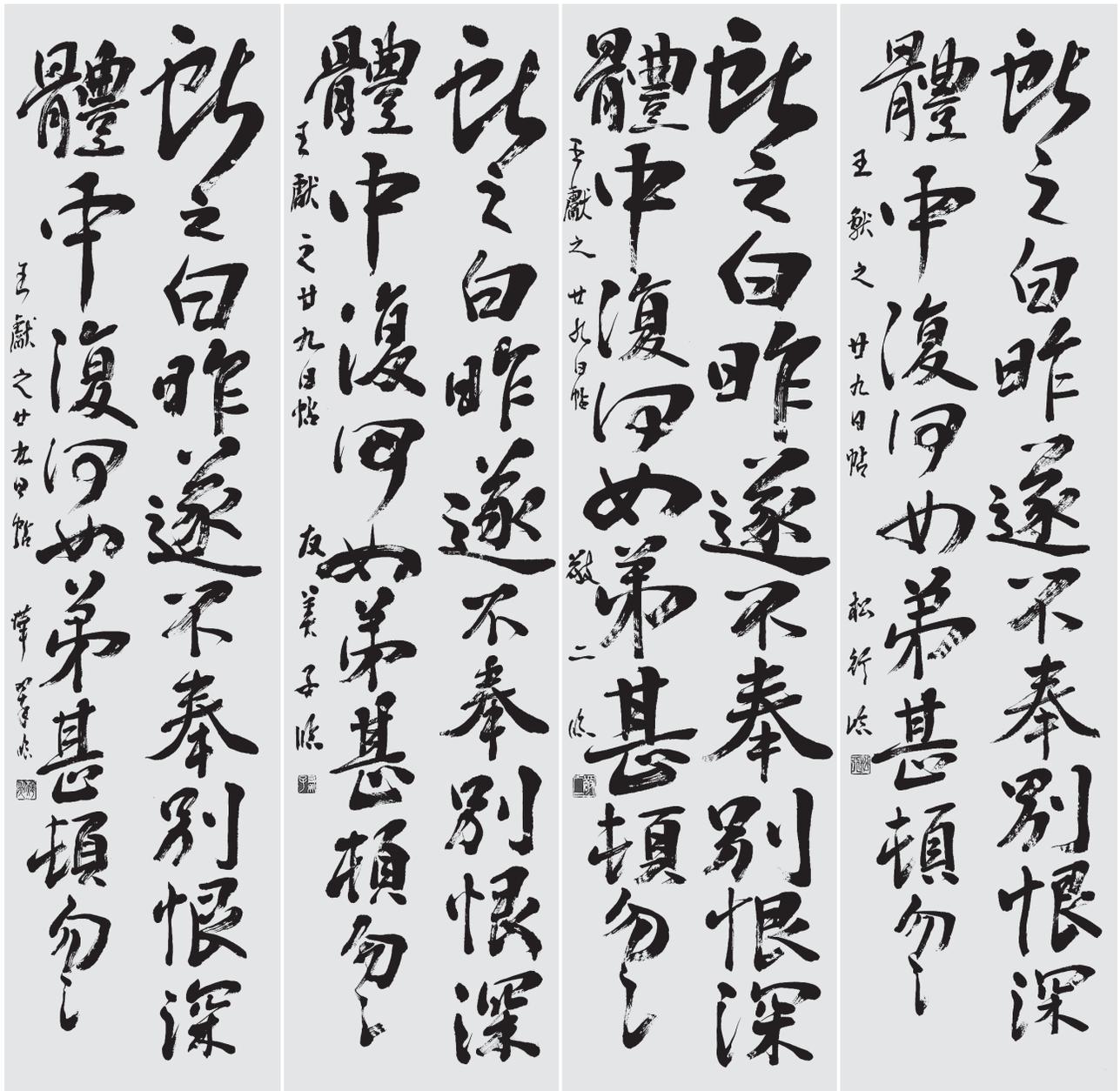
江川悦子 推選
 全体の章法が素晴らしいです。「もの影・秋が来る」の潤筆と「いたはりながら」の渴筆の対比が申し分ありません。「いたはりながら」の形体は風韻がありますね。

山下瑠璃 推選
 始筆から「来る」迄の筆致は一貫性があり、品格のある白と黒の美しい作品です。自然な連筆の「いたはりながら」と「秋」の何とも言えない表情が魅力的で心に響きます。

赤石静湖 推選
 参考作品を良く研究して書作されています。潤渴の変化が上手く、全体のバランスが秀でています。「影」の形体が素晴らしく渴筆が心に残る落ち着いた力作です。

田尻白華 推選
 字間の間合いが抜群です。「いたはりながら」の連綿の筆意が良く「秋が来る」を少し中心から右にずらした作者の意図が作品効果を上げています。落款も良。

加藤有鄰先生選評



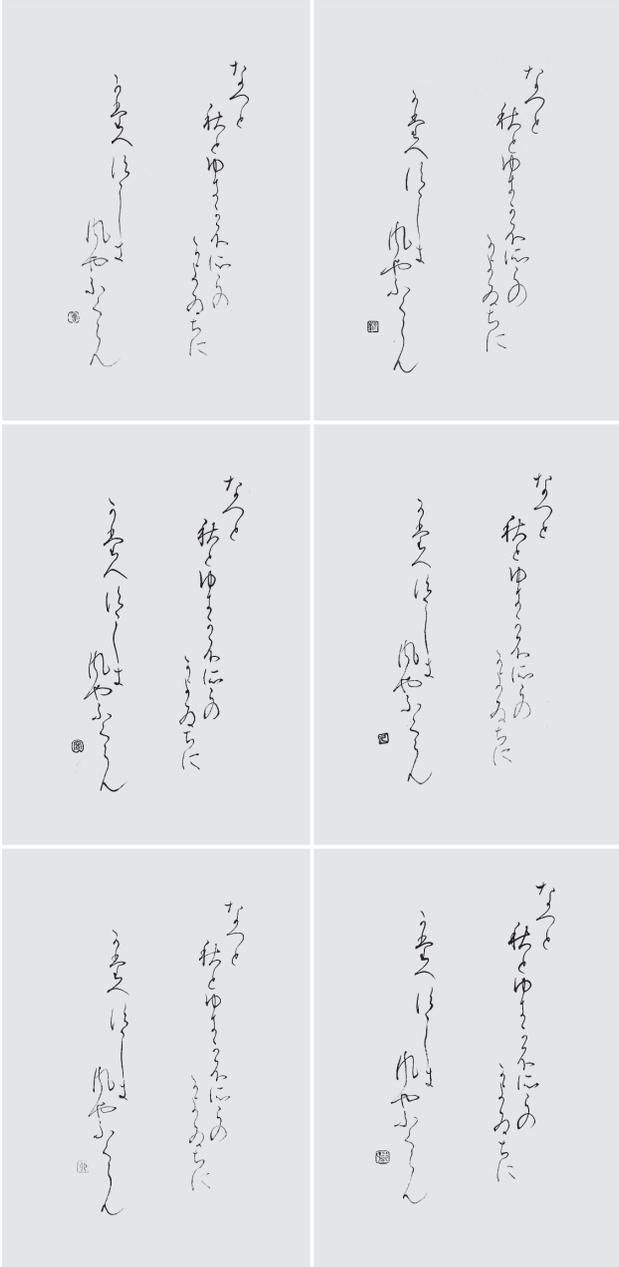
加藤 松行 推選
 筆を柔らかく握り、適度に線の強さを織り交せて品格高い作品としました。やや墨量が少なめかとも思われるが、余白が美しく、全体を響かせています。

内木 敬二 推選
 墨量豊かに堂々としており、線に余裕と自信が窺える作品です。渴筆部も柔らかに運筆しており、日頃の研鑽の成果が現れた。

杉原 友美子 推選
 原帖を良く理解し、遠くより筆を導き、運腕が正確で凛としており、伸びやかさと強さをよく表現しています。

梅本 燁翠 推選
 献之のもつ大胆さをよく表現されて気合十分の作です。線質も強く、直線的ながらも丸みと温かさがあり、気品を感じさせます。

吉澤真理先生選評



清水千寿 八段
線に弱さがあり控え目ながら丁寧な臨書作品です。紙ににくい込む線を研究されると力強さや奥行きが加わり作品に厚みが増します。

菊谷寒鷗 準八
力強く伸びやかな線が心地よいです。渴筆を加味すると更に魅力的になります。線の最後を引き抜かず軽くとめるというような表現の研究を。

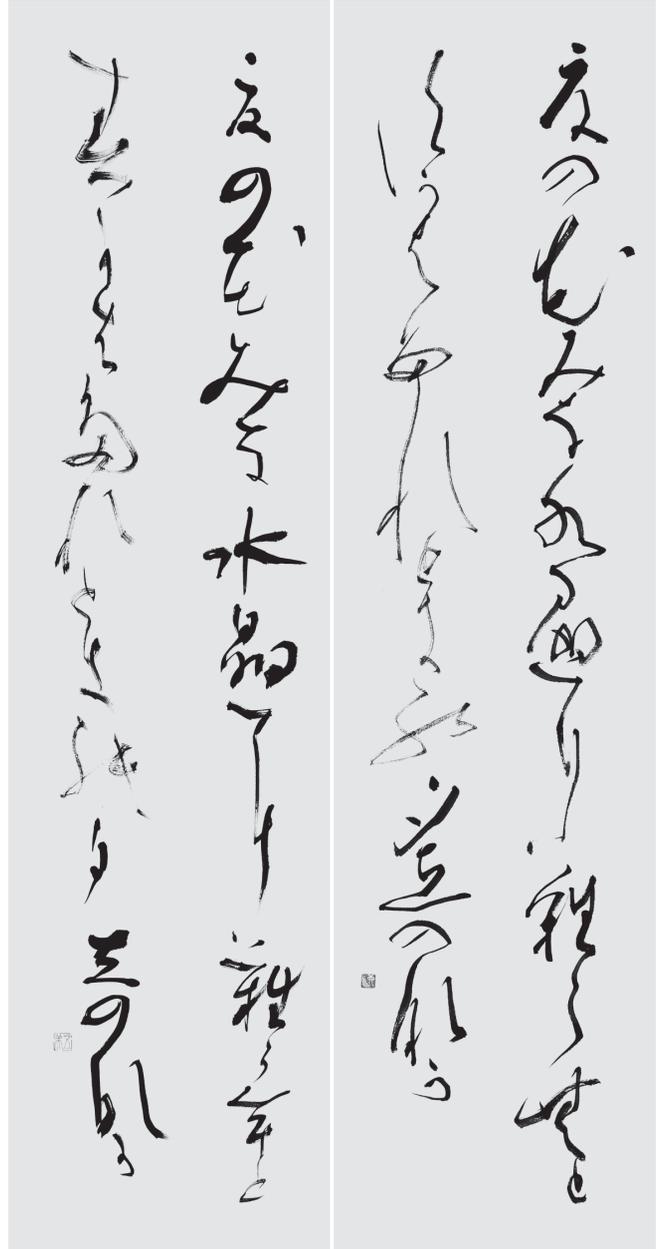
霜鳥卯水 七段
字形美しく真面目な臨書態度に好感がもてます。緩急の変化もみられ魅力ある作品です。これからも精進されることを期待します。

達美峰 師範
原帖の特色である大らかで息の長い書線、自然に流れる連綿線で落ちつきと優雅さの相俟った品格ある作品に仕上がりました。

栗田久仁子 師範
墨色・墨量をよく考えられ濃淡の美しさを発揮されました。迷いのない運筆と張りのある線質は作品に緊張感を与えました。

折川範子 準師
筆力ある運筆で筆先の動きが見えるような庄の変化があり美しい線条です。あと少しの渴筆が加われば一段と冴えある作品に。

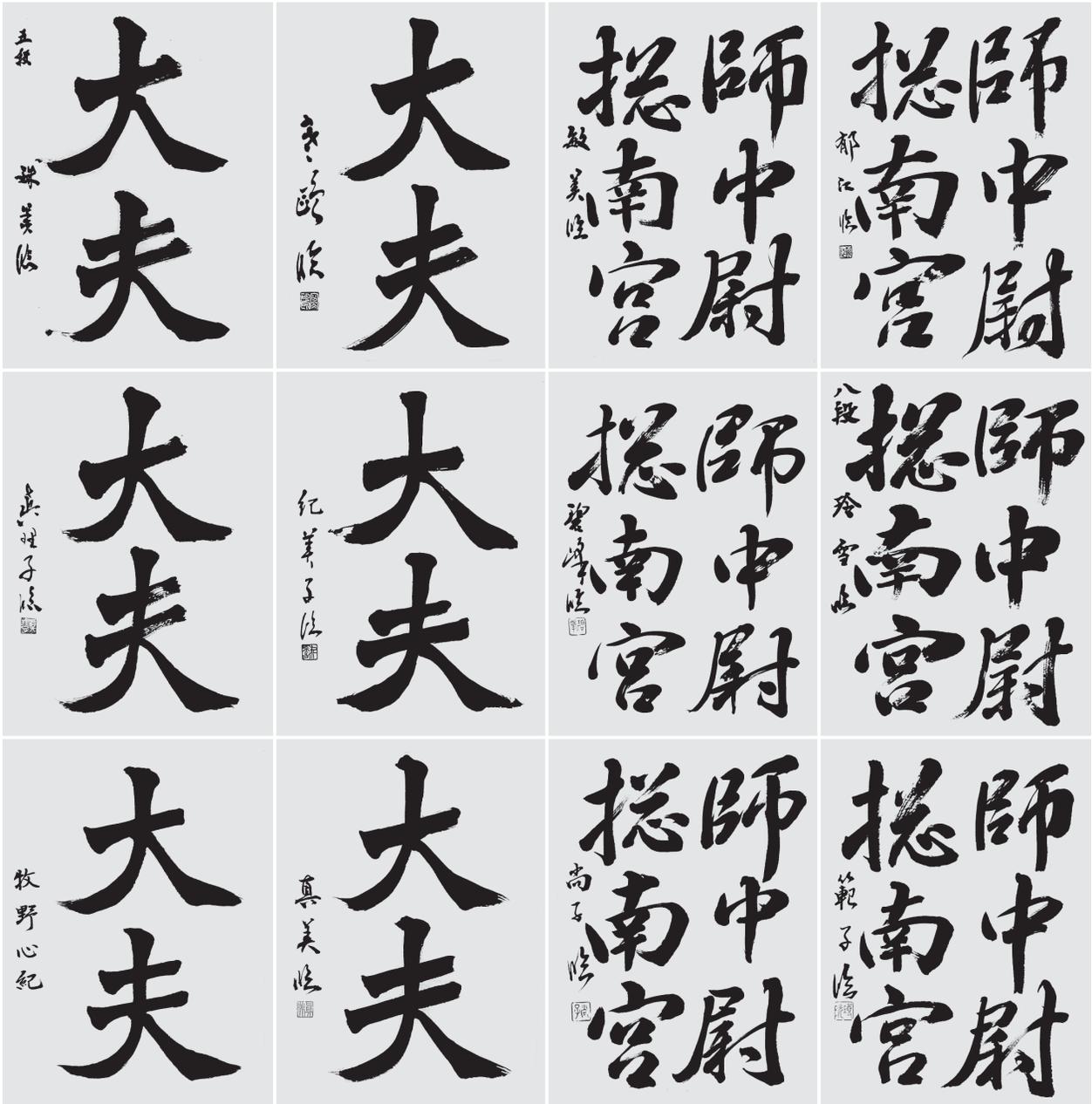
吉田久実子先生選評



熊谷潤 推選
静かで爽やかなリズムと透明感のある線が魅力。伸びのある変体仮名「耳」と「牟」を見事に使い分け熟練の技を窺う。放ち書きと連綿の調和が光る。

霜鳥卯水 推選
柔毛を駆使し、文字の動き、線の変化の妙は群を抜く。二行目渴筆の線質は細くて勁く、針切を想わせる。古筆の習熟の深さをも感じる快作。

武良霜伯先生選評



金宗珠美 五段
原帖の特徴を一番良く捉えた臨書でどっしり鎮座している。横画の角度や止め方が統一されておりメリハリがあり逞しい表現です。

菊谷寒鷗 師範
濃墨で筆圧充分、始筆の角度、送筆のスピード等々調和の取れた完成度の高い作品です。落款も流暢で真面目な臨書態度に感服しています。

洪澤敏美 準六
墨量を良く載せて柔らかい線質で安定感がある。又、情感の動きが窺え気持ちの柔らかさが見える。落款も流暢ですが雅印があれば更に佳。

吉田郁江 師範
運腕大きくしてリズムで捉えており適当な粘りとさっぱりした線情が相俟って明るい作品です。起筆から収筆までピアノ線の様に緊張感が続く。

藤田眞理子 準四
線の勢いやスピード感に溢れ気合充分、伸び伸びと引いている。画数の少ない今回のような場所の正しい運筆の捉え方のお手本です。流石です。

太田紀美子 七段
紙面いっぱいに物怖じせず伸び伸びと逞しい力感あふれる豪快な作品です。北魏の楷書の習い方として正しい方向だと思えます。益々の精進を。

藤井碧峰 五段
立体感があり作品がとて大きく見えます。狭い半紙の中で、これだけ大胆に筆の弾力を生かし切れるのは並大抵の腕ではありませぬ。

黒田玲雪 八段
筆の圧を加え濃墨で重厚に書作されており筆力充分です。じつくりと紙に食らいついて運ぶ筆のタッチに妥協を許さない強靱さが窺えます。

牧野心紀 初段
始筆・終筆が横画左右払いとも実に行き届いている。安定した腕の動きが筆先に伝わり爽快な線が輝いている。落款の下に雅印が欲しい。

山田真美 六段
起筆の角度、左右の払いの潔さ。方勢(方筆)の力強さを見事に表現しています。気迫に満ちており北魏碑の謹厳さが漲っている。

鈴木尚子 三段
筆の握り方が優しく線が飛動している。運筆に柔らかさがあり緊張らずに自分の力を出し切った感が快い。縦画がやや左下に流れるのが残念。

折川範子 八段
爽やかな広がりのある明快な表現が心地良いです。勢いを遠くから誘い込んでまた遠くへと抜き去ってゆく、運腕の大きさが秀抜です。